



参院選で、市民、4野党が13項目の政策協定 岡山選挙区で野党統一候補の原田謙介氏必勝に全力を上げる

市民組織・おかやまいっぽん、社民党、立憲民主党、国民民主党、共産党は6月8日、第25回参院選・岡山選挙区の市民と野党の統一候補を「原田謙介」とする政策協定の調印式を行った。「立憲野党4党1会派の政策に対する市民連合の要望書」が掲げる全13項目の政策実現のために、原田謙介氏の勝利に全力を上げることを確認した。これで「戦う態勢ができた」(吉岡・いっぽん共同代表)。原田謙介氏は、「関係者のご努力で統一候補として戦うことになった。13項目の骨太で大事な政策の実現に全力を上げる。将来世代にツケを残さないため何ができるか、9条改憲はもと来た道であり、次の世代に危険な可能性を残すことになる。原発も3・11を経験し、いまの世代だけでなく、もっと次の世代まで負担を残すもので、原発は早くなくしていかなければならない。これまで民主主義の大切さを訴えてきた。付度する政治、まともな議論もせずになんか決まっていくな状況でいいのか、民主主義をしっかりと元に戻すためにも安倍政権に勝ち、次の世代のための新たな日としたい」と、決意を述べた。

調印した社民・立民・国民・共産の各政党といっぽんの5者から決意のあいさつが続き、社民党・宮田代表は、「13項目、どれも大切な問題だ。9条改憲阻止、民主主義を踏みにじる沖縄辺野古埋め立て、大企業や富裕層を優遇し、市民生活をないがしろにする安倍政権を終わりにするため、社民党も原田謙介必勝に向けしっかりと戦っていく」とあいさつした。

翌9日には、岡山駅西口で共産党の街頭演説会の前段に、岡山選挙区で野党統一候補の原田謙介氏と、おかやまいっぽん、社民党、立憲民主党、国民民主党、共産党が並んで登壇、4野党と市民の統一候補としてたたかうことを報告、街頭の市民から大きな拍手を受けた。原田謙介氏の決意と政策協定に調印した4野党からもマイクリレーで原田謙介候補の勝利に全力を上げようと訴えた。

左：6月8日 おかやまいっぽん・
4野党の政策協定調印式

下：6月9日、岡山駅西口で訴える
野党統一候補の原田謙介氏

